I.T.C INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Innoshima Technical Center
Public relations magazine
ClassNK NIPPON KAIJI KYOKAI
第50号　助成事業
平成28月4月12日発行
制作：運営協議会事務局

平成28年度因島技術センター初任者研修がスタートしました

因島技術センターは、設立から18年目を迎えました。
平成28年４月６日（水）に因島技術センター初任者研修入校式を行い、今年度の研修がスタートしています。
今年度は会員企業10社から56名が入校し、３カ月間にわたり基礎・基本の習得に取り組みます。
午前10時からの入校式では、運営協議会会長の開会あいさつの後、尾道市議会議長髙本訓司様より御祝辞をいただきました。

尾道市議会議長
髙本　訓司様　祝辞

研修生代表　決意表明

西之浦分社長代
「諸先輩が築かれた技術をしっかり受け継ぎ、伝承していく」と、力強く決意を表明し、３ヶ月間御指導をいただく指導員の方々に礼をして、研修が始まりました。

４月の研修では共通基礎技能研修、５月の研修では共通基本技能研修、６月の研修では応用基本技能研修と段階的に研修を行い、研修生を即戦力として現場に送り出せる様、育成します。

☆取得資格☆
- 玉掛技能講習
- 床上操作式クレーン運転技能講習
  又はクレーン・デリック運転士免許
- ガス溶接技能講習
- ＮＫ溶接士技量資格　Ａ－２Ｆ
- アーク溶接等の業務に係る特別教育
- 研削砥石の取替及び試運転業務に係る特別教育

最後になりましたが、本研修の実施に多大なる御尽力を頂きます指導員の皆さまに敬意を表すると共に、研修の運営に多大なる御支援を頂きます、国土交通省、一般財団法人日本海事協会、日本財団、一般社団法人日本造船工業会、社団法人日本中小型造船工業会、社団法人日本造船協力事業者団体連合会の皆様を始め、関係各位の皆様に心より御礼申し上げます。

心ころころ尾道
COCOROnomichi

＜お問い合わせ先＞
因島技術センター運営協議会事務局 担当 小田 充彦
TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

I.T.C INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Innoshima Technical Center
Public relations magazine
ClassNK NIPPON KAIJI KYOKAI
第51号　助成事業
平成28月5月11日発行
制作：運営協議会事務局

因島技術センター初任者研修1カ月コースが修了しました

平成２８年４月６日(水)より開講していた初任者研修の１ヶ月コースが修了しました。
４月の研修では、共通基礎技能研修と位置づけて、「安全教育」「図面の見方」「グラインダ」「玉掛」「床上クレン」「ガス切断」「アーク溶接」の科目を実施しています。

また、４月２２日(金)には特別教育として、株式会社ライメックスからディーゼル統括部設計課の岡野巧さん、ボイラ統括部設計課の五通雅之さんや、国土交通省中国運輸局因島海事事務所より山田正義所長、財務省神戸税関福山税関支署より井本要一因島出張所長に講義をして頂きました。

講義内容

◎ ディーゼルの構造と図面の見方　◎ ボイラの概要について
◎ 船舶安全法　◎ 税関業務について

５月の研修については、基本技能研修と位置付けて、CO2溶接や造船組立を追加したカリキュラムで実施します。研修生の皆さん、引き続き頑張ってください。

また、５６名の受講生のうち１０名は、１ヶ月コースで研修を終えて５月からそれぞれの職場において、この研修で学びえた事を基に、さらに精進されること願っております。

5月研修内容

○ 図面の見方　○ 玉掛
○ 床上クレン　○ ガス切断
○ アーク溶接　○ 特別講義（NK）
○ CO2溶接　○ 造船組立

＜お問い合わせ先＞
因島技術センター運営協議会事務局 担当 小田 充彦
TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

心ころころ尾道
COCOROnomichi

I.T.C INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Innoshima Technical Center
Public relations magazine
ClassNK NIPPON KAIJI KYOKAI 助成事業
第52号
平成28月6月1日発行
制作：運営協議会事務局

因島技術センター初任者研修2ヶ月が修了しました

残り1ヶ月

５月24日（火）には一般財団法人日本海事協会様より講師をお招きして、「船舶損傷事例と教訓」と題した特別講義を行いました。

特別講義の様子

講師：清水友望さん

講義内容

◎ 船級協会としての本会の業務内容

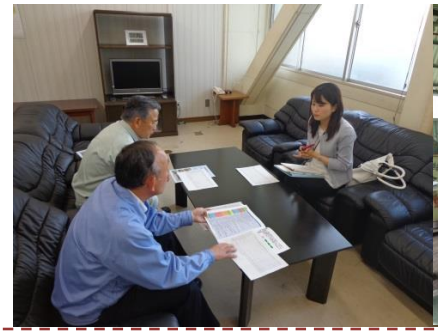
◎ 船舶損傷事例と教訓

講義をしてくださいました、一般財団法人日本海事協会　清水 友望（しみず ともみち）様、ありがとうございました。

５月19日（木）に中国新聞の新山記者が、因島技術センターの取材に来られました。
初任者研修中だったこともあり、研修生たちにもインタビューを受けていました。

インタビューを受けている
三和ドック　山下祥生さん
岩城造船　渡辺真宏さん

研修風景のビデオ撮影と研修生へのインタビューをした後、別室にて秋吉会長と加登センター長にインタビューをされました。内容としては、因島技術センターが創生された経緯やこれまでの歩み等を取材されました。記事の掲載は、５月下旬から６月上旬予定となっております。



４月６日から始まった初任者研修も、早くも２ヶ月が経ち、残り１ヶ月となりました。
４月は「共通基礎技能研修」、５月は「共通基本技能研修」と位置付けていました。最終月である６月は「応用技能研修」と位置付けており、いよいよ各資格試験の受験が始まります。これから気温も段々と高くなりますし、テストのプレッシャーもあるかとは思いますが、研修生の皆さん、引き続き頑張ってください。

＜お問い合わせ先＞
因島技術センター運営協議会事務局 担当 小田 充彦
TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

心ころころ尾道
COCOROnomichi

I.T.C INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Innoshima Technical Center
Public relations magazine
ClassNK NIPPON KAIJI KYOKAI 助成事業
第53号
平成28月7月5日発行
制作：運営協議会事務局

因島技術センター初任者研修・船舶海洋工学が修了しました

研修生の皆さん、おつかれさまでした

平成28年度の「船舶海洋工学研修」「初任者研修」が６月23日、同30日にそれぞれ修了しました。本年度の修了者数は船舶海洋工学研修が２名、初任者研修が55名となりました。

これも国土交通省、一般財団法人日本海事協会、日本財団と会員企業の皆様の御協力のおかげであり、この場を借りて御礼を申し上げます。

また、指導員の皆様には長期間に亘る研修にも関わらず、並々ならぬ熱意をもって指導に当たって頂きましたこと心より御礼申し上げます。

最後になりましたが、本研修の実施に多大なる御尽力を頂きます指導員の皆さまに敬意を表すると共に、研修の運営に多大なる御支援を頂きます、国土交通省、一般財団法人日本海事協会、日本財団、一般社団法人日本造船工業会、社団法人日本中小型造船工業会、社団法人日本造船協力事業者団体連合会の皆様を始め、関係各位の皆様に心より御礼申し上げます。

平成28年度安全体感研修夏季定期講習の開講が決定しました！

今年も安全体感研修「夏季定期講習」の開講が決定しました！！

因島技術センターの安全体感研修は参加型・体験型の研修となっており、危険回避の為にはどう行動すればよいかどういう行動が危険なのかをより身近に体感して頂けるプログラムとなっています。

通常であれば10名以上のオーダー型研修となっていますが、この定期開講期間中は1名からの受講が可能です。是非、この機会に新入社員のみならず従業員への安全教育に御利用下さい。

＜詳細＞

定期講習期間：７月19日（火）～21日（木）
受講時間　　：①08時30分～12時00分
　　②13時00分～16時30分
受講料金　　：お1人様　3,240円（消費税込）

持参物：筆記用具・作業着・安全帽
　　安全靴（長編または短編＋脚絆）
　　安全帯（事務局まで御相談下さい）

心ころころ尾道
COCOROnomichi

＜お問い合わせ先＞
因島技術センター運営協議会事務局 担当 小田 充彦
TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

中国新聞掲載記事

５月19日（木）に行った中国新聞さんの取材記事が６月14日（火）に掲載されました。
スマートフォンでアプリを取って頂くと動画も見れるようになっておりますので、ぜひご覧ください。

ひろしま解体新書 ⑤

第2部 みなと尾道

造船・海運 伝統次代に

人材育成

尾道市因島土生町の造船所。「因島技術センター」の初任者研修に、同市や愛媛県今治市の造船所の新入社員たち45人が集まった。OBの指導員6人から、鉄板の溶接や切断作業を教わった。

全国初の訓練校

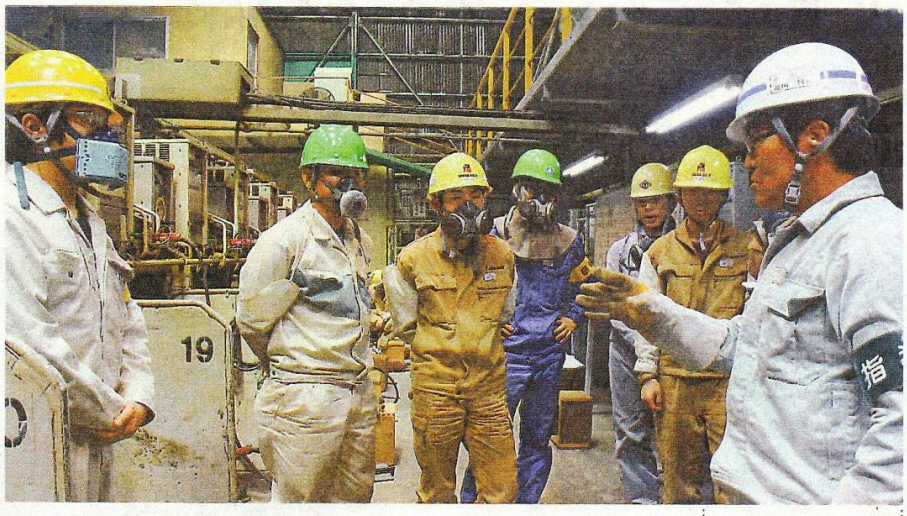
造船・舶用工業で全国初の職業訓練校として、1999年4月に創設。尾道市や地元の造船所などでつくる協議会が運営し、約40社が加盟する。同市内の造船所4カ所を会場に数日～3カ月、研修する。熟練の技能工が溶接や組み立ての基礎、応用を教える。

加登峯雄センター長(67)は「短期間で即戦力に育つ」と胸を張る。官民一体で取り組む仕組みは「因島モデル」として広まり、横浜や長崎市など5カ所に同様のセンターがつくられた。

初任者研修は4月から6月まで。参加した三和ドック（因島重井町）の山下祥生さん(18)は「溶接技術が上達しているのを実感する。早く現場で生かしたい」。

センターによると、創設からことし3月末までに県内外の計4755人が受講した。運営協議会の秋吉公広会長(68)は「世界に通用する尾道の造船技術を後世に伝える重要な役割を担っている」と力を込める。

船員を養成する尾道海技学院（栗原東）は、国家資格の6級海技士（航海）を10カ月半の短期間で養成するコースを、全国で初めて2009年に設けた。航海課程は166人（3月末現在）、機関士や機関長を目指す「機関」は15年に始め38人（同）が修了した。



造船所で因島技術センターの指導員（右端）から溶接を教わる研修生＝尾道市因島土生町（撮影・安部慶彦）

船員不足に対応

内航海運業界の船員不足が背景にある。日本内航海運組合総連合会によると、国内の業者は15年3月現在、3555社。14年時点の船員約2万人のうち、55歳以上が4割超を占める。

「海上物流の担い手養成は喫緊の課題」と海技学院の村瀬保文会長(67)は話す。

現在学ぶ航海課程の23人は全国から集まった。千葉県流山市の郷内慶彦さん(34)は「最短で免状を取得できる。業界一助になれたら」と意気込む。

瀬戸内しまなみは造船、海運が集積する「海一」を形成する尾道海事事務局尾道海事事務所古浜町）の波戸(57)は「官民や連携するためには人材だ。歴史ある尾道で育成すい」と強調する。

（新山京子＝第

中国新聞ＡＲ

Androidを利用の方はPlayストアから、iPhone、iPadを利用の方はApp Storeから「中国新聞ＡＲ」アプリ（無料）をダウンロードしてインストールします。「中国

I.T.C INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Innoshima Technical Center
Public relations magazine
ClassNK NIPPON KAIJI KYOKAI 助成事業
第54号
平成28年8月1日発行
制作：運営協議会事務局

平成28年度安全体感研修夏季定期講習の開講が修了しました

7月19日（火）～21日（木）までの3日間開催しました、安全体感研修夏季定期講習が無事修了しました。今年は、5社13名が受講しました。お疲れ様でした、ありがとうございました。

主に事故の原因とされるの

※　慣れ・気の緩みからの安全への意識低下
※　危険への認識不足

因島技術センターの安全体感研修は参加型・体験型の研修となっており、危険回避の為にはどう行動すればよいかどういう行動が危険なのかをより身近に体感して頂けるプログラムとなっています。
通常であれば10名以上のオーダー型研修となっていますが、この定期開講期間中は1名からの受講が可能です。
是非、この機会に新入社員のみならず従業員への安全教育に御利用下さい。
次回の定期開講は、9月開催予定です。

平成28年度「海の日」記念式典で1名功労者表彰を受賞しました

7月20日に平成27年度「海の日」記念式典が執り行われました。
因島技術センターからは、配管艤装初級専門技能研修の指導員である柏原聡さんが海事関係功労者表彰を受賞しました。

＜問い合わせ先＞
因島技術センター運営協議会事務局 担当 小田 充彦
TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

心ころころ尾道
COCOROnomichi

I.T.C INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Innoshima Technical Center
Public relations magazine
ClassNK NIPPON KAIJI KYOKAI 助成事業
第55号
平成28月9月1日発行
制作：運営協議会事務局

平成28年度安全体感研修秋季定期講習を開講します！！

今年も安全体感研修「秋季定期講習」の開講が決定しました！！
因島技術センターの安全体感研修は参加型・体験型の研修となっており、危険回避の為にはどう行動すればよいかどういう行動が危険なのかをより身近に体感して頂けるプログラムとなっています。
通常であれば10名以上のオーダー型研修となっていますが、この定期開講期間中は1名からの受講が可能です。是非、この機会に新入社員のみならず従業員への安全教育に御利用下さい。

＜詳細＞
定期講習期間：9月13日（火）～15日（木）
受講時間　　：①08時30分～12時00分
　　②13時00分～16時30分
受講料金　　：お1人様　3,240円（消費税込）
持参物　　：筆記用具・作業着・安全帽
　　安全靴（長編または短編＋脚絆）
　　安全帯（事務局まで御相談下さい）

平成28年度因島技術センター撓鉄中級専門技能研修開講予定！！

匠の技「撓鉄」造船ニッポンの技能を伝承!!

今年度も、「撓鉄中級専門技能研修」を開講予定です！
匠の技と言われる「撓鉄」の技術を継承しようと、初級研修を平成16年より3年間開講し、平成19年より現在の中級研修を開講。本年で、通算13年目を迎える、因島技術センターで最も歴史のある専門技能研修です。
本研修は、線状加熱の作業ができる者を対象に複雑な曲面外板の施行方法の習得を目的として実施します。座学講義は、DVD教材やテキスト、パワーポイント副教材を用いて実施し、実技研修では4名1班に分かれ、プレス加工や、深絞りの皿型板、深絞りの鞍型板、純捻れ板の製作を行います。
また、実技研修の様子は適時ビデオ撮影し、翌日の座学講義の中で作業の問題点について確認し、実技研修に活かしていく内容となっております。

＜詳細＞
研修期間：決まり次第HPにてお知らせ致します。

研修場所：株式会社三和ドック（予定）

定　　員：12名程度

受 講 料：因島技術センター会員企業　70,000円
　　その他の全国募集　　105,000円

＜お問い合わせ先＞
因島技術センター運営協議会事務局 担当 小田 充彦
TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

心ころころ尾道
COCOROnomichi

I.T.C Innoshima Technical Center
INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Public relations magazine
ClassNK NIPPON KAIJI KYOKAI 助成事業
第56号
平成28月10月1日発行
制作：運営協議会事務局

平成28年度因島技術センター撓鉄中級専門技能研修開講決定！！

匠の技「撓鉄」造船ニッポンの技能を伝承!!

今年度も、「撓鉄中級専門技能研修」を開講します！
匠の技と言われる「撓鉄」の技術を継承しようと、初級研修を平成16年より3年間開講し、平成19年より現在の中級研修を開講。本年で、通算13年目を迎える、因島技術センターで最も歴史のある専門技能研修です。

本研修は、線状加熱の作業ができる者を対象に複雑な曲面外板の施行方法の習得を目的として実施します。座学講義は、DVD教材やテキスト、パワーポイント副教材を用いて実施し、実技研修では4名1班に分かれ、プレス加工や、深絞りの皿型板、深絞りの鞍型板、純捻れ板の製作を行います。

また、実技研修の様子は適時ビデオ撮影し、翌日の座学講義の中で作業の問題点について確認し、実技研修に活かしていく内容となっております。

＜詳細＞
研修期間：11月7日～11月11日までの5日間

研修場所：株式会社三和ドック

定　　員：12名程度

受 講 料：因島技術センター会員企業　70,000円
　　その他の全国募集　105,000円

受講企業一覧

- ◇ **株式会社三和ドック　1名**
- ◇ **株式会社江田島造船所　2名**
- ◇ **株式会社中村造船鉄工所　2名**
- ◇ **株式会社新来島豊橋造船　1名**
- ◇ **米海軍横須賀基地　2名**
- ◇ **向島ドック株式会社　1名**
- ◇ **株式会社新来島どっく　1名**
- ◇ **新高知重工株式会社　1名**
- ◇ **株式会社小松製作所　1名**

平成28年度因島技術センター安全体感研修秋季定期講習開講予定！！

今年も安全体感研修「秋季定期講習」の開講が決定しました！！
因島技術センターの安全体感研修は参加型・体験型の研修となっており、危険回避の為にはどう行動すればよいかどういう行動が危険なのかをより身近に体感して頂けるプログラムとなっています。
通常であれば10名以上のオーダー型研修となっていますが、この定期開講期間中は1名からの受講が可能です。是非、この機会に新入社員のみならず従業員への安全教育に御利用下さい。

＜詳細＞
定期講習期間：11月15日（火）～17日（木）
受講時間　：①08時30分～12時00分
　　②13時00分～16時30分
受講料金　：お1人様　3,240円（消費税込）

持参物：筆記用具・作業着・安全帽
　　安全靴（長編または短編＋脚絆）
　　安全帯（事務局まで御相談下さい）

心ころころ尾道
COCOROnomichi

＜お問い合わせ先＞
因島技術センター運営協議会事務局 担当 小田 充彦
TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

I.T.C INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Innoshima Technical Center
Public relations magazine
ClassNK NIPPON KAIJI KYOKAI
第57・58号　助成事業
平成28年12月1日発行
制作：運営協議会事務局

「匠の技」伝承完了!!

平成28年度因島技術センター撓鉄中級専門技能研修が修了しました！

撓鉄中級専門技能研修を11月7日(月)～11日(金)の5日間に亘り、株式会社三和ドックにおいて実施ししました。本年度は会員企業のほか、愛媛、山口、愛知各県から参加があり9社12名での研修となりました。

入校式

修了式

修了式記念写真

DVDなどによる座学講義により理解を深め、実技実習では、深絞りの皿型と鞍型を中心に各班2人1組に分かれて作業を行いました。

研修生は「匠の技」を少しでも多く学び取ろうと真剣に取り組んでおり、修了試験では、全員が良好な成績を修める事ができました。

研修の運営にあたりまして多大なご支援をいただきました関係機関の皆様をはじめ、快く施設を提供していただきました株式会社三和ドック様、熱意をもって指導していただきました指導員の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成28年度因島技術センター安全体感研修秋季定期開講が修了しました

11月15日(火)～17日(木)までの3日間開催しました、安全体感研修秋季定期講習が無事修了しました。お疲れ様でした、ありがとうございました。

因島技術センターの安全体感研修は参加型・体験型の研修となっており、危険回避の為にはどう行動すればよいかどういう行動が危険なのかをより身近に体感して頂けるプログラムとなっています。

通常であれば10名以上のオーダー型研修となっていますが、この定期開講期間中は1名からの受講が可能です。是非、この機会に新入社員のみならず従業員への安全教育に御利用下さい。

次回の定期開講は、1月開催予定です。

もう一つ上を目指して

平成28年度因島技術センター溶接中級専門技能研修を開講します！！

平成28年度因島技術センター「溶接中級専門技能研修」を12月7日(水)より開講します。

今年度は、4社11名にて実施します。会員企業の他、全国募集での申込みもありました。

この研修は「手溶接コース」「CO2溶接コース」「TIG溶接コース」の３コースに分かれ実施されます。当センターの溶接中級研修では、技量向上だけでなく今取得している資格の「もう一つ上」を目指す研修と位置付けていますので、「TIG溶接」についても、NKの基本級の資格取得を目指します。

写真は平成27年度のものです。

受講企業

内海造船株式会社	4名
株式会社三和ドック	2名
株式会社共立機械製作所	3名
株式会社江田島造船	2名

平成28年度地域研修センター意見情報交換会

11月9日（水）、平成28年度地域研修センター意見情報交換会を行いました。

この地域研修センター意見情報交換会は、全国６ヵ所（今治・大分・東日本・長崎・相生・因島）の地域研修センターで実施している研修の効果的な実施及びその内容の向上を図るための意見及び情報の交換を行うことを目的とした全国会議。各センターの持ち回りで開催しており、今年度は因島技術センター主催で開催しました。

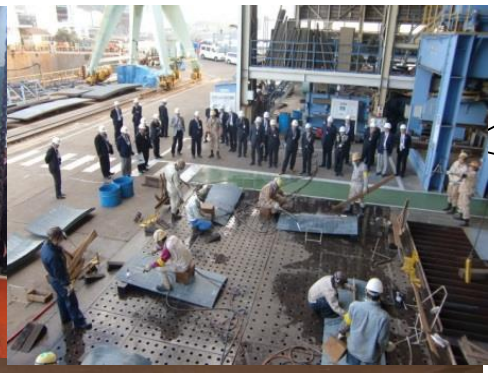
各地域研修センターの皆様のほか、一般財団法人日本海事協会様、国土交通省海事局様、海上技術安全研究所様、一般社団法人日本造船工業会様、一般社団法人日本造船協力事業者団体連合会様、一般社団法人日本中小型造船工業会様、さらには、国土交通省中国運輸局様、広島県商工労働局様、尾道市副市長様、尾道市議会議長様など、多数の来賓の方々にご出席いただきました。

因島技術センターの安全体感施設見学後、会場を株式会社三和ドックへ移し、三和ドック工場内や同時期、同社内で開催中の因島技術センター撓鉄中級専門技能研修の見学をしていただきました。

また、三和ドック事務所内会議室で行われた意見情報交換会では、（一財）日本海事協会技術研究所調査企画部長平田純一様、国土交通省海事局船舶産業課専門官小澤健一様からご挨拶をいただいた後、各センターが抱える課題や取り組みなどを持ち出し様々な意見交換が行われました。

意見情報交換会終了後、同事務所最上階の展望カフェに会場を移し懇親会を開催し、情報交換会を締めくくりました。

会議及び懇親会にあたりまして多大なご支援をいただきました関係機関の皆様をはじめ、快く施設を提供していただきました株式会社三和ドック様に厚く御礼を申し上げます。



因島技術センター安全体感施設及び撓鉄中級専門技能研修の見学

因島技術センター運営協議会秋吉公廣会長による開会挨拶

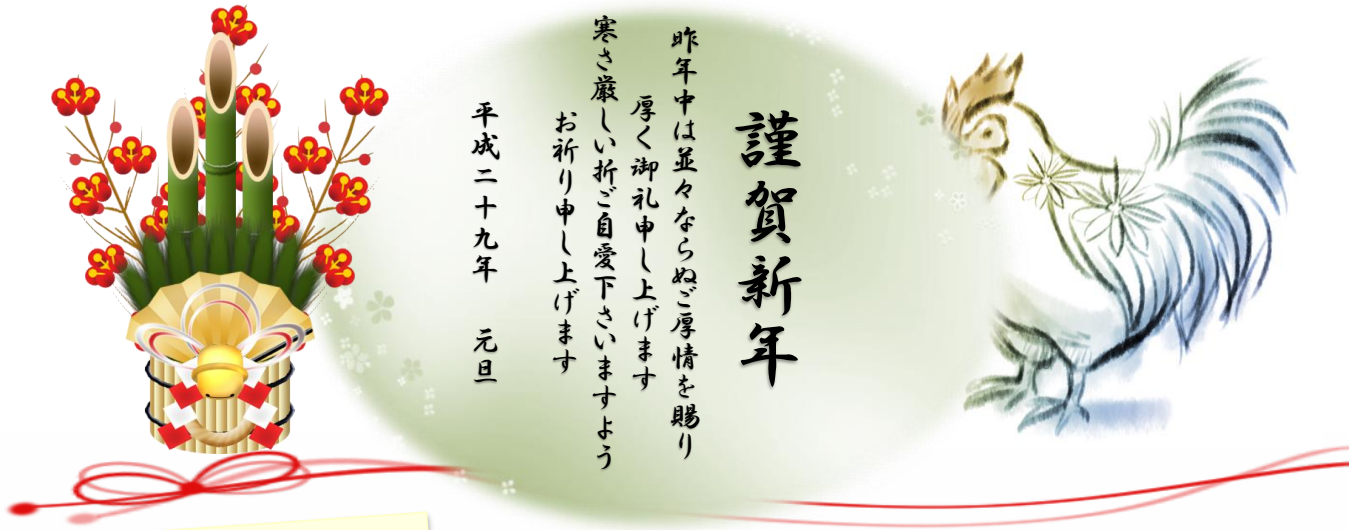
（一財）日本海事協会技術研究所調査企画部長平田純一様

国土交通省海事局船舶産業課専門官小澤健一様

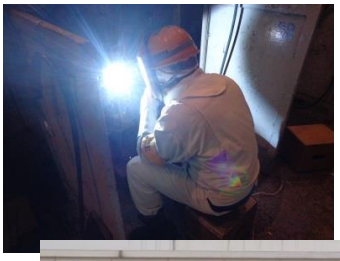
心ころころ尾道
COCOROnomichi

＜お問い合わせ先＞
因島技術センター運営協議会事務局 担当 小田 充彦
TEL0845-26-6212 FAX0845-22-2203
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

I.T.C INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Innoshima Technical Center
Public relations magazine
ClassNK NIPPON KAIJI KYOKAI
第59号　助成事業
平成29月1月5日発行
制作：運営協議会事務局



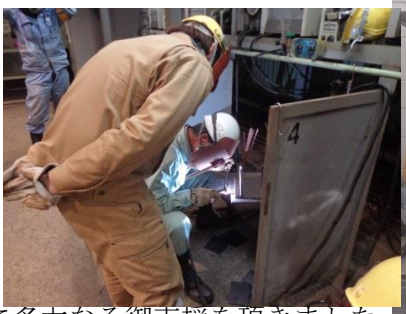
溶接専門技能研修が修了しました！



平成28年12月16日に因島技術センター溶接中級専門技能研修が修了しました。この度は4社11名での研修となりました。

平成25年度よりTIG溶接コースを取り入れ、因島技術センターでは4回目のTIGでのNK技量試験の資格取得となりました。

12月14日の試験では、TIG溶接の研修生だけではなくCO2溶接の研修生も受験し、緊張した面持ちでありましたが、研修の成果を活かそうと、真剣に取り組み、全員が合格する事ができました。



8日間に亘る研修では溶接の基礎を、座学及び実技の両面から学びながら「ワンランクアップ」のテーマの下、一人一人が常に問題意識を持って真剣に取り組んでいました。

研修生の皆さんは、本研修で習得した技能に自信を持って、現場に戻られても、日々の業務に邁進される事を願っております。

最後になりましたが、研修の運営に多大なる御支援を頂きました、事協会、日本財団、一般社団法人日本造船工業会、一般社団法人日本中小型造船工業会、一般社団法人日本造船協力事業者団体連合会の皆様をはじめ、研修の実施に御協力を頂きました、内海造船株式会社、運営協議会の皆様、指導員の皆様に心より御礼申し上げます。

平成28年度因島技術センター配管艤装初級専門技能研修の研修生を募集しています。

平成28年度因島技術センター「配管艤装初級専門技能研修」の開講が決定いたしました。本研修は配管艤装の初歩として配管艤装の概要、簡単な管一品の製作、サポートの取り付け、配管及び合わせ管の取り付けについて座学講義と実技を通し、研修生一人一人の学びを確認すると共にそこから導かれる実践力を養います。

- 日　程　平成29年2月7日（火）～2月10日（金）＊4日間
- 定　員　10名（会員企業、全国募集含む）
- 受講料　因技C会員35,000円　その他企業52,500円（テキスト代含む）
- 場　所　内海造船株式会社因島工場　重井事業所

心ころころ尾道
COCOROnomichi

＜お問い合わせ先＞
因島技術センター運営協議会事務局 担当 小田 充彦
TEL：0845-26-6212 FAX：0845-22-2203
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

I.T.C INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Innoshima Technical Center
Public relations magazine
ClassNK NIPPON KAIJI KYOKAI
第60号 助成事業
平成29月2月1日発行
制作：運営協議会事務局

平成28年度因島技術センター配管艤装初級専門技能研修を開講します！

平成28年度因島技術センター「配管艤装初級専門技能研修」の研修生が決定致しました。この度は会員企業3社のほか、広島県・愛媛県・山口県からも申し込みをいただき、12名での研修となります。

2月7日（火）から2月10日（金）までの4日間開講し、配管艤装の概要、管一品の製作、サポート及び合わせ管の取り付けの知識と技能の習得を目指します。

◊受講企業一覧◊

☆内海造船（株）	3名
☆（株）三和ﾄﾞｯｸ	2名
☆ｼﾞｬﾊﾟﾝﾏﾘﾝﾕﾅｲﾃｯﾄﾞ（株）	2名
☆大濱漁業（株）	2名
☆中谷造船（株）	2名
☆（株）新笠戸ﾄﾞｯｸ	1名

座学講義は、一般社団法人日本中小型造船工業会作成のテキスト及び映像教材を用いて行い、実技研修では、フランジとスリーブ継手を有するＺ管の製作、Ｌ型の合わせ管の製作と取り付けを行うこととしております。

写真は、平成27年度のものです。

平成28年度因島技術センター安全体感研修冬季定期開講が修了しました

1月17日（火）～19日（木）までの3日間開催しました、安全体感研修冬季定期講習が無事修了しました。お疲れ様でした、ありがとうございました。

因島技術センターの安全体感研修は参加型・体験型の研修となっており、危険回避の為にはどう行動すればよいかどういう行動が危険なのかをより身近に体感して頂けるプログラムとなっています。

通常であれば10名以上のオーダー型研修となっていますが、この定期開講期間中は1名からの受講が可能です。

是非、この機会に新入社員のみならず従業員への安全教育に御利用下さい

次回の定期開講は、3月開催予定です。

心ころころ尾道
COCOROnomichi

＜お問い合わせ先＞
因島技術センター運営協議会事務局 担当 小田 充彦
TEL：0845-26-6212 FAX：0845-22-2203
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html

I.T.C INNOSHIMA TECHNICAL CENTER SINCE 1999
Innoshima Technical Center
Public relations magazine
ClassNK NIPPON KAIJI KYOKAI
第61号 助成事業
平成29年3月1日発行
制作：運営協議会事務局

平成28年度因島技術センター配管艤装初級専門技能研修が修了しました

平成28年度因島技術センター「配管艤装初級専門技能研修」が修了しました。
研修生の皆さんは懸命に配管艤装の基礎を学び、全員が配管艤装３級を取得することが出来ました。
カリキュラムの合間には、一人一人が何を学びたいかを確認し、自発的にも学べるよう、随時変更しながら行いました。
指導員とも、日々の疑問点や、会社に戻ってからの仕事に対する姿勢などのコミュニケーションをとりながらの研修となり、有意義な４日間であったかと思います。

最後になりましたが、研修の運営に多大なる御支援を頂きました、国土交通省、一般財団法人日本海事協会、日本財団、一般社団法人日本造船工業会、一般社団法人日本中小型造船工業会、一般社団法人日本造船協力事業者団体連合会の皆様をはじめ、研修の実施に御協力を頂きました、内海造船株株式会社、運営協議会の皆様、指導員の皆様に心より御礼申し上げます。

平成28年度因島技術センター安全体感研修春季定期開講が決定しました！

今年も安全体感研修「春季定期講習」の開講が決定しました！！
因島技術センターの安全体感研修は参加型・体験型の研修となっており、危険回避の為にはどう行動すればよいかどういう行動が危険なのかをより身近に体感して頂けるプログラムとなっています。
通常であれば10名以上のオーダー型研修となっていますが、この定期開講期間中は1名からの受講が可能です。是非、この機会に新入社員のみならず従業員への安全教育に御利用下さい。

＜詳細＞
定期講習期間：3月8日（水）～10日（金）

受講時間：①08時30分～12時00分
②13時00分～16時30分

受講料金：お1人様　3,240円（消費税込）

持参物：筆記用具・作業着・安全帽
安全靴（長編または短編＋脚絆）
安全帯（事務局まで御相談下さい）

心ころころ尾道
COCOROnomichi

＜お問い合わせ先＞
因島技術センター運営協議会事務局 担当 小田 充彦
TEL：0845-26-6212 FAX：0845-22-2203
http://www.city.onomichi.hiroshima.jp/itc/index.html